

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和5年3月7日(2023.3.7)

【公開番号】特開2022-180437(P2022-180437A)

【公開日】令和4年12月6日(2022.12.6)

【年通号数】公開公報(特許)2022-224

【出願番号】特願2022-143467(P2022-143467)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7088(2006.01)

10

A 6 1 P 29/00(2006.01)

A 6 1 K 31/713(2006.01)

A 6 1 K 48/00(2006.01)

A 6 1 K 31/712(2006.01)

C 1 2 N 15/113(2010.01)

C 1 2 Q 1/686(2018.01)

C 0 7 K 16/18(2006.01)

C 1 2 N 5/10(2006.01)

G 0 1 N 33/50(2006.01)

G 0 1 N 33/68(2006.01)

20

C 1 2 N 5/0786(2010.01)

C 1 2 N 5/0784(2010.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 P 29/00 Z N A

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/712

C 1 2 N 15/113 Z

30

C 1 2 Q 1/686 Z

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 5/10

G 0 1 N 33/50 P

G 0 1 N 33/68

C 1 2 N 5/0786

C 1 2 N 5/0784

【手続補正書】

【提出日】令和5年2月27日(2023.2.27)

【手続補正1】

40

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被験体においてHom-1の発現を阻害するための核酸分子及び薬学的に許容可能な担体を含む組成物であって、前記核酸分子が配列番号3、4、5又は6の配列を有するそのままのモルホリノオリゴヌクレオチドである組成物。

【請求項2】

50

局所、経口、直腸、経鼻、静脈内、関節内、結膜、頭蓋内、腹腔内、胸膜内、筋肉内、髄腔内又は皮下投与経路用に配合される、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記被験体が炎症性障害を有する、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記炎症性障害が炎症性腸疾患（IBD）である、請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

H o m - 1 阻害剤で処理した、又はH o m - 1 阻害剤を発現する発現構築物を含有する改変マクロファージ、単球又は樹状細胞を含む医薬組成物であって、前記改変マクロファージ、単球又は樹状細胞が、対照レベルと比較してより低レベルのH o m - 1 を発現する医薬組成物。

10

20

30

40

50